

羽ばたき続ける



- 1 特集／TOP INTERVIEW
フーズテクニカルサービス
有限会社 赤司菓子舗
社会医療法人社団 大久保病院
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんTOPICS



食品業界から厚い信頼を寄せられる
代表の弘蔵 守夫さん。
これまでに携わった企業は優に
100を超える。

大分南部ブロック同友会

[食品技術情報サービス業]

フーズテクニカルサービス

代表者 弘蔵 守夫氏

DATA

所 大分市上野ヶ丘2-12-34

☎ 097-544-1145

🕒 9:00~18:00

🗓 日曜・祝日 📍 あり

食品業界の「安心・安全・発展」を支える県内唯一の企業

上野丘高校からほど近い場所にある『フーズテクニカルサービス』は、商品・研究開発や品質・衛生管理などのコンサルティングをはじめ、商品検査や保存試験、工場チェックや新商品・技術の開発、クレーム原因や技術・設備の調

査など、食品の技術や情報に関するさまざまな業務を請け負う会社。中小企業にとって、検査や試験、開発にかかる設備投資、要員確保は大きな負担となる。そこを専門的に請け負う同社は、県内で唯一、全国的にも珍しい、食品業界の黒子的存在なのだ。

代表の弘蔵 守夫さんは、もともと地元の大分乳業メーカーに勤務。17年間、研究や技術関係の業務に携わった。30年前、それまで培った経験を生かし「食品会社のサポートをしたい」と会社を立ち上げた。設立当初は受注が少なく、不安を抱えたこともある。しか

実験室を併設する事務所。
将来的には食品加工の教室なども開催していきたいそう



アレルギー物質を測定する「マイクロプレートリーダー」や「水分活性測定装置」、「紫外・可視分光光度計」などの測定機器をはじめおよそ20種の機器を保有

一緒に会社を支えてくれる
娘の周子(ちかこ)さんは頼もしい存在

し、焦って新規開拓をするようなことはなく、信頼できる取引先一社一社との関係を大切に築き続けた結果、経営は次第に軌道に乗り始めた。これまで業務を請け負ったのは、県内や九州のみならず、関西、関東の中小~大手企業の数々。豊富な知識と確かな技術、特殊な機材を駆使して手がけるサービスは、多くの食品会社の成長に貢献してきた。

やりがいを感じるのは「お客様が成功、成長していく姿を見る時」。そのためにも、学会に出席したり、毎年変わる食品関連の法律を学んだり、今でも日々研鑽を積み続ける。時には採算を度外視した、検査や試験のための高額な機器の補充もいとわない。すべては研究者・技術者としてのこだわりからだ。そんな弘蔵さんを支えてきたのは、奥様、そして娘の周子さん。フードコーディネーター、食育コーディネーターを取得し、中小企業支援アドバイザーや大分県普及指導協力委員なども務め、精神的に活動する娘は、今では父親にとって信頼のおける右腕だ。

そういう弘蔵さんも、現在、国や大分県の公的支援アドバイザー、大分県食品産業企業会の企画委員など、社外の活動に尽力。食品業界の発展に貢献したい、大分県を元気にしたいという思いもあつてのことだ。そのためには、人材育成など総合的なサポートが必要だと考えている。「夢はいつまでも追いかけるもの。これからも食品やシステムの開発に関わりたいですね」と、目を輝かせる弘蔵さん。新たな挑戦は、まだまだ続く。

「駅伝の第2走者」として 事業と地元の未来のため 走り続ける



5年前に開店した湯の坪店。商品は大方や福岡の百貨店でも販売している



看板商品の「流し羊羹」は塩を使っておらず、お茶に合う味わい



スイートポテトを使用した人気急上昇中の「しっとり餡ぼてと」

由布院駅の目と鼻の先に本店を構える、昭和33年創業の『赤司菓子舗』。5年ほど前に開店した湯の坪店と合わせて2店舗で、地元の人々や観光客に、開業以来変わらぬ製法でつくられる「流し羊羹」をはじめとする、伝統とアイデア、こだわりが詰まった和菓子を提供し続けている。

看板商品の羊羹と流し羊羹には、北海道産の小豆と湯布院の清き水を使用。小豆の皮に含まれるタンニンを取り除くため、皮をむいてつくられており、渋みがなくなめらかな、上品な食感と味わいが特徴だ。「流し羊羹」は、昔ながらの製法と包装で、好みの固さでいただける（＝結晶化する）ので、固めが好みなら数日おいて食すのがおすすめだという。羊羹は小倉、あずきのほか、湯布院産・院内産の柚子を使用したものなどの3種と、「大人の時間 YOI TSU TSU」シリーズ2種がそろそろ。このシリーズは、シャンパン好きの赤司さんが「夜、シャンパンを飲みながら味わえる和菓子をつくりたい」と独自に考案したもの。オレンジ風味、レモン風味の2種があり、単品はもちろんシャンパンとのセットも販売している。どうしてもシャンパンと合わせて食べてもらいたいという思いから、酒類販売業免許まで取

得しこのセット販売を実現。洒落た味とパッケージ、アイデアで、バレンタインやウェディングの引き出物などに幅広く人気を博している。

ほかにも、石臼びきのそば粉を使用したそば饅頭、自家製の柚子煉りを白餡に練り込んだ柚子饅頭、さくらの花びらの塩漬けを練り込んださくら饅頭など3種の饅頭や、餡入りの和洋折衷のお菓子「しっとり餡ぼてと」、切らずに手軽に食べられるアイデア商品「あずき羊羹バー」など、さまざまな和菓子を店頭や県内外のデパート、ネットでも販売。販路の拡大を検討していないかを尋ねると「目が行き届いて今がちょうどいい規模」と、欲張らない姿勢なのには理由がある。赤司さんが大切にしてい

るのは、これまでに培ったものを守りつつ、慎重に進化し続けること。「先代から受け継いだ製造方法を残すと同時に、石橋を叩きながら一歩一歩進むことが大切だと思っています。洋菓子屋が一代でゴールできる短距離走だとしたら、和菓子屋は駅伝のようなもの。自分は第2走者」と微笑む。生まれ育った湯布院を盛り上げるため、観光協会の副会長を務めるなど地元のための活動にも力を注ぐ赤司さん。これからも、自身の事業と湯布院の未来に「たすきを渡す」という使命に情熱を燃やし、走り続ける。



「市場があるのに働き手がない」と言われる湯布院。「店や企業が活気づくためには、人手不足の解消も大きな課題」と赤司哲（さとる）さん

久大同友会

【菓子製造業】

有限会社 赤司菓子舗

代表取締役 赤司 哲氏

DATA

〒 由布市湯布院町川北2-2

☎ 0977-84-2575

🕒 9:00~17:00

🚗 不定 📺 なし

<http://akashikashiho.jp/>

へき地に寄り添う中核的医療機関

大正7年に設立された『大久保病院』は、内科・外科・整形外科・胃腸科・肛門科・循環器内科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科・婦人科の診療を実施する、久住・直入地区の地域医療の拠点。関連施設として、介護老人保健施設『ヴァル・ド・グラスくじゅう』、認知症対応型共同生活介護施設であるグループホーム『くたみのもり』のほか、訪問看護ステーションや介護支援センターなどの関連施設を運営している。

今年の4月には、竹田市における二次救急医療体制が復活。同病院では、竹田医師会病院と連携をはかり、周辺地域の救急患者の受け入れを始めた。もともと救急医療に関して関心の高かった大久保氏は、スタッフの確保やER病棟の増改築工事など、体制の充実に意欲を燃やす。

これまで、災害医療に関しても見聞を広めてきた大久保氏。熊本地震の際には、南阿蘇から患者を受け入れた。また大久保病院は、「へき地医療拠点病院」として、半径4km以内に病院がないいわゆる「無医地区」での活動を展開。へき地における医療サービスの充

実を目指し、『医砥ばたカフェ』というプロジェクトを実施している。これは、医師、看護師、介護師、理学療法士、健康運動実践指導士、事務員などで構成されるチームで、高齢化率の高い竹田市宮砥(みやど)地区の公民館に出向き、週に一度、診療、リハビリテーション、栄養指導をおこなうものだ。「リハビリや診察を週に1回のペースで受けられれば、精神的に安心したり、身体の状態をキープすることができます。高齢で通院が困難になった方はもちろん、一人暮らしの高齢者の孤独化を防ぐためにも、こうした場所が必要」と大久保氏。竹田市には宮砥地区をはじめ5つの無医地区がある。医砥ばたカフェのような出張型の医療サービスの充実は、今後も重要な課題だという。

2019年には設立100周年を迎える大久保病院。準備委員会を設け、地域の方々のためになるようなイベントを企画中だ。「地域の皆様の健康づくりに少しでも役に立ちたい。これからは『ここでどこまでやれるか』を考え、実現していきたいと思っています」と微笑む大久保氏の瞳は、優しく、熱く、輝いていた。

大分県介護老人保健施設協会 会長や
全国認知症グループホーム協会 理事
なども務める大久保 健作 理事長



高気圧酸素治療やCT電子スコープなど、最新医療機器を駆使



銅板作家の赤川政由氏による作品が迎えてくれる

竹田同友会

[医療機関]

社会医療法人社団
大久保病院

理事長 大久保 健作氏

DATA

〒 竹田市久住町大字栢木6026-2

☎ 0974-64-7777

🕒 9:00~17:00、土曜~12:00

🗓 日曜 📍あり

http://www.okubo-hp.com/



大正7年設立の歴史ある中核病院



社会福祉法人 とんとん
理事長 田中 カヨコさん



子育てに頑張る誰もがホッとできる
広場を目指している

DATA
[社会福祉事業]
社会福祉法人 とんとん
〒大分市明積10組の3
☎097-546-3400
🕒7:30~18:00 ㊟日曜
📍あり
<http://www.oct-net.ne.jp/~tonton91/>

子育て中の親子の笑顔を支えるため 一歩ずつ歩み続ける

2015年12月に社会福祉法人の認可を受け、子育て中の親子の拠り所として地域に愛される「とんとん」。その道のりは、多くの絆に支えられたものだった。始まりは1991年。重度の障がいを持つ就学前の幼児を対象とした預かり保育事業を、「障がいを持つお父さんのお母さんを支える事業をしたい」という思いでスタートした。当時前例のない事業だったため公的支援はなく、地域の人々に支えられながらの活動だった。

理事長がこうした事業への思いを持ち始めたのは、京都で暮らしていた時のこと。子育てをするなかで障がい児保育がない社会状況に疑問を持ち、滋賀大学で専門的に学ぶことを決意した。卒業後、6年間看護学校に勤務し、転勤で大分へ帰郷。小さな公民館で「宗方子ども教室とんとん」の事業を開始する。潤沢な資金も公的支援もない

状態だったが、バザーで予算づくりをしたり、地域のお母さんたちやボランティアに支えられながら理想の場所づくりを目指した。2006年に現在の拠点を構えてからは、のちに地方裁量型認定子ども園として県内初の認定を受けた一般幼児対象の認可外保育施設など、次々と施設を増設する。「思いが形になり、人が集まる。ここまでやってこれたのは、確固とした信念と、ご縁があったからこそ」という理事長。お母さんたちがホッとできる場所をつくりたいと、決して平坦ではなかった道のりで有言実行を成し遂げてきた理事長の情熱を、スタッフや息子の一旭さんも支えている。子どもたち、保護者たちの笑顔はもちろん、こうして応援し、一緒に頑張ってくれる「人」とんとんの大切な財産だ。子育て中の親子の笑顔に出会える場所を増やし続ける「とんとん」。来年度には、もうひとつ保育園を設立する予定だ。

キラリ 新風力 New Wind & Fresh Power ふわり 爽風力

竹田産の農産物でつくる オリジナル加工品と地元アート作品の ギャラリーをオープン予定

代表の羽田野さんは、独立までの27年間、農協に勤務。「いつかは自分で事業を立ち上げたい」という思いを持ちながら、農業指導などをおこなっていた。こうして農協での経験とネットワークを生かして始めた『遊草舎』は、契約農家17~8軒による竹田産の農作物の流通や、自社の敷地内にある店舗での手づくり鶏飯やまんじゅう販売などの事業を展開。店舗は、道の駅などがまだ地域になかった当時、貴重な立ち寄りスポットとして多くの人々に利用された。数年後、息子が帰郷したこともあり、店舗を貸し出し、以前から声がかかっていた大分合同新聞のプレスセンター運営と、加工食品の開発・販売に専念するようになった。以来、元看護師の奥様が

中心となって、自社と契約農家栽培の有機無農薬野菜を使用した「おやじのたれ」や「ぴりっこ」など、さまざまな加工品を開発。こだわりの素材と味が評判となり、今では県内各地のデパートやショップで取り扱われている。年内には、自社店舗を復活させる予定。新たに考案した「とりめしせんべい」などの加工品販売をはじめ、愛好家によるチェーンソーアートや、竹田市へ移住を果たした若手作家の作品を展示する、地元アートのギャラリーを主体とする店にしたいという。与謝野晶子の「西海遊草」からとったという社名の名付け親は、現竹田市長の首藤勝次氏。20代のころから貸し農園と一緒に企画するなど、ともに地域のために活動してきた同志だ。この地の恵みを提供することで「みんなに喜んでもらいたい」、「生まれ育った場所になにか貢献したい」という思いで、羽田野さんはこれからも挑戦を続ける。

DATA
[飲食・小売業]
遊草舎
〒竹田市直入町大字長湯8195-29
☎0974-75-3820
📍あり



家族みんなで試作を重ねて完成した加工品の数々



遊草舎 代表者 羽田野 眞一さん



COMPANY GUIDE

総合建設業

有限会社 大倉産業

地域の人々の暮らしをサポート 快適で便利なコインランドリー



竹田市役所の向かいにある広々とした店舗

主業である総合建設業を営む傍ら、竹田市（玉来、会々）、三重町（本城、赤嶺）、緒方でコインランドリー5店舗を経営する『大倉産業』。コインランドリーの第一号店は、平成23年に始めた三重本城店だ。「気持ちよく利用してもらいたい」というオーナーのこだわりから、駐車場も店も広々としたつくりで、空間は常に清潔。しっかりしたメンテナンスをおこなっているのも、5店舗まで増えた理由だ。ほとんどの店舗に洗濯乾燥機、乾燥機を5台ずつと、洗濯物をたたむ大きなテーブルを完備しており、夏・冬の衣替えの時期には多くの人々が利用している。店舗は地域の「ここにも欲しい」という声に応え随時増やしていく予定で、今夏は久住店、今秋には荻店のオープンが決まっている。



〒 竹田市荻町北原5004-38
☎ 0974-68-2244
🕒 24時間営業※三重本城店、竹田会々店は洗濯機完備
🗓 年中無休
🅑 あり



温泉施設

岡城天然温泉 月のしずく

昨年7月にリニューアル 竹田市中心部に近い癒しの 温泉施設



地元の人々に親しまれるアットホームな温泉

長年、竹田市で建設業を営んでいた先代が「地域の皆さんに恩返しをしたい」と、平成17年に開設した温泉施設。大浴場は男女ともに電気風呂や長さ11mの歩行浴、天然鉱石SGEのサウナ、ぬるめのお湯でゆっくりつかれる岩造りの露天風呂がそろう、家族風呂はひのき、石造り、バリアフリーの3タイプから選べる。館内にはマッサージコーナーと休憩所、オリジナル化粧水やお土産の販売コーナーも。塩化物泉の掛け流しの湯や設備はもちろん、明るく元気なスタッフ、こまめな清掃で保たれる清潔な環境も人気の理由だ。料金は大人350円、子ども200円（小学生未満は無料）、家族風呂は1時間1部屋2,000円。



〒 竹田市大字会々2808-5
☎ 0974-63-3075
🕒 10:00~22:00、火曜はメンテナンスのため17:00~22:00
🗓 12/31、1/1
🅑 あり



建築工事業

有限会社 わさだ工務店

自社製材・自社設計ならではの 人と自然に優しい家づくり



天然乾燥木材の現場見学会

『木の「いのち」を未来につなぐ』をモットーに、住人、職人、生産者、自然…家づくりに関わるすべての人・ものがよりよい状態になるための、こだわりの家づくりに定評がある『わさだ工務店』。特徴的なのは、佐伯市宇目にある自社所有の山林で伐採、天然乾燥した木材を使用するところだ。耐久性・加工性に優れ、香りや色合いのよい天然乾燥材は、「果物なら露地物のようなもの」と佐保社長。地元の素材を使うことは、地域の山を豊かにすることにもつながる。自社の家づくりだけでなく、林業を応援することも大切な役目だと考える同社は、工務店の若手経営者らと結成した「木繋会（きづかい）」での活動もおこなっている。



〒 大分市大字宮崎1492-151
☎ 097-568-5080
🕒 8:00~18:00
🗓 日曜、祝日
🅑 あり
<http://www.kino-sumai.com>



不動産業

有限会社 アプローチ

親切・丁寧な対応に定評あり 挟間町を拠点とする不動産会社



地域に密着したきめ細かな対応で信頼される

挟間町を中心に、大分県内全域の不動産物件の仲介をおこなう『アプローチ』。開業以来およそ18年、地域の人々から厚い信頼を寄せられ続けている。もともとは大分市宗方の自宅で営業していたが、6年前に現在の場所に移転した。挟間町は大分市中心部と由布院のちょうど中間に位置し、利便性が高く、豊かな自然にも恵まれ住みやすいということもあり、ここ数年人口が増加している地域。そんな挟間町の益々の発展のため、不動産をより有効に活用するサポートや、お客さま一人ひとりに行き届いた臨機応変なサービスを、家族経営ならではのアットホームな雰囲気、強い連携プレーでおこなっている。現在、売土地の募集を強化中。検討中の方はぜひ一度ご相談を。



所 由布市挟間町北方536-6
☎ 097-583-3739
営業 9:00~18:00
休 日曜、祝日
P 共有あり



調味料
加工販売業

有限会社 麻生醤油醸造場

「九州の発酵力」を広めるため 商品開発やイベント開催に 力を注ぐ



商品開発やイベント企画にも力を注ぐ

1952年の創業以来、豊かな自然に恵まれた環境で、原料や昔ながらの製法にこだわった味噌や醤油をつくり続けている『麻生醤油醸造場』。変わらぬ味で愛されるヤマフネ(同社の屋号)印の醤油や、「全国味噌鑑評会」で優秀な賞を何度も受賞し、代々受け継がれてきた天然醸造杉樽仕込みの味噌のほか、「あまざけ」や「みそマヨネーズ」などの加工品もそろそろ。「本物の味と品質を提供し、それを知ってもらうことが大切」と、3代目が引き継いでからは、商品のモデルチェンジや新商品開発、ブランドPR活動をはじめ、和食料理人、イタリアンなどのシェフと同社商品のコラボ「九州の発酵力伝承ツアー」など、斬新なイベントにも取り組んでいる。



所 玖珠郡九重町大字右田2582-2
☎ 0973-76-2015
営業 9:00~17:00
休 土曜、日曜、祝日
P あり
<http://asoushoyu.com>



旅館業

リバーサイドホテル 山水館

三隈川のほとりに佇む 屋形船と大宴会場完備の旅館



会席は何度もリピートしたくなる理由の一つ

かつて天領の町として栄えた日田。そのシンボルとも言える三隈川を、目の前に一望できる贅沢なロケーションと、「温かいものを温かいうちに」をモットーに提供する、金口鮎などを味わえる会席で多くのリピーターを引き付ける旅館。5/20~10月までは屋形船での船上宴会(2名以上の要予約、1名3,000円~)がおすすめた。大浴場は単純アルカリ泉の温泉。ジェットバス、露天風呂付きの「檜水の湯」とサウナ付きの「岩風呂の湯」が男女入れ替えて楽しめる。平成26年に部屋や大浴場をリニューアルし、ますます快適になった山水館へ、足を運んでみてはいかがだろう。一泊二食10,950円(税込)~(月、曜日、料理のコースにより変動あり)。



所 日田市川原町3-23
☎ 0973-22-3123
営業 問い合わせ8:00~20:00
チェックイン15:00
チェックアウト10:00
休 日曜
P あり
<http://www.hita-sansuikan.com>



人々の暮らしと自然を豊かにする 天然素材の製品を企画販売



日本環境協会によって2010年に創設された「エコマークアワード」。「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰するものだ。



間伐材・放置竹林
グリーンプロジェクト



TAKEBITO
ORIGINAL COLLECTION

「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」や、天然素材でできた生活雑貨、テーブルウェアなどの自社ブランド「Takebito」などを展開

天然素材を使用したテーブルウェア、ハウスウェア、雑貨をはじめ、専門店向けの什器などの企画・制作・卸販売、OEMを手がける『山下工芸』。もともとは竹細工製品に特化した会社だったが、山下氏が二代目を継いでからは、木製品や有田焼など、九州の工芸文化に関連する商品を扱うようになった。山下氏は3人兄弟の長男。家業を継ぐため帰郷を果たすまでは、大阪で興行関係の仕事に従事。次男は大手電気機器メーカー、三男は音楽大学で声楽を学ぶなど、それぞれ異なる、家業とは関連のない畑で活躍。その3人がさまざまな分野での経験を持ち帰り生かしたからこそ、現在のような経営スタイルが生まれたのだろう。

天然素材製品の企画開発、間伐材利用の製品販売をはじめ、里山の荒廃、放置竹林などの社会問題について訴え、NPO法人『里山を考える会』との連携や、北九州市『エコライフプラザ』での出品、福祉施設への作業委託など、ソーシャルビジネスの観点を取り入れながら事業を展開してきた同社。約10年前からは、「自然で自然を支えるしくみ 間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」に取り組んできた。このプロジェクトは、放置竹林の竹や間伐材を有効活用し、森林資源の浪費や放置竹林の拡大を防ごうというもの。プロジェクト製品のなかから、放置竹林の竹箸5種がエコマーク認定を受けている。今年には、同プロジェクトおよびその一環としておこなってきたCSV活動が評価され、公益財団法人 日本環境協会が主催する『エコマークアワード2015』で銅賞を受賞。初めての申請での受賞という快挙を成し遂げた。

同社は、日本の伝統工芸を海外へ広める活動にも意欲的だ。1999~2004年には、展示会「AMBIENTE」出展のためドイツへ。世界で勝負することの厳しさを身をもって知る絶好の機会となった。そうした体験を経て、中国・杭州に事務所を構えたのが2005年。主に調理器具を販売しており、特に中国国内、台湾において売り上げが好調だ。山下氏は、日本の人口減少と為替変動が進む今の状況に危機感を覚えており、今後はいかに国外にルートを構築するかが重要課題だと考えている。同じく問題として挙げるのが、後継者不足。「人材を確保するには、職人の地位・対価の向上をはじめ、育成システムの確立などさまざまな面で見直されるべき」だと、声を強める。

天然素材をキーワードに、人々の暮らしを豊かにすること、日本の環境と伝統を守ること。その使命をまっとうするため、邁進し続ける山下工芸から目が離せない。

別府・日出同友会

【工芸品販売】

株式会社山下工芸

代表取締役 山下 謙一郎氏

DATA

〒 別府市上人仲町13-43

☎ 0977-66-4383

🕒 9:00~18:00

📅 休 第2・4土曜、祝日

📍 あり

http://www.yamashita-kogei.com/

「人材や理念など、きちんとした生産背景があつてこそいいものづくりができる」と代表取締役の山下 謙一郎氏。

